

第 165 回 計測技術委員会議事録

日 時 令和 2 年 2 月 6 日 (金) 14:00~16:00

場 所 サニー貸会議室

出席者 委員長 大谷 (日大)

副委員長 仲嶋 (福山大)

委 員 河村 (アンリツ), 古川 (横河電機),
松村 (日大), 水野 (NICT), 山田 (産総研)

幹 事 作本 (日大), 今池 (日大)

幹事補佐 白井 (日電検)

資 料

165-1 第 128 回電気学会基礎・材料・共通部門 研究調査運営委員会 議事録 (案)

165-2 2020 年度 計測技術委員会活動計画三次案

165-3 2020 年度 計測研究会実施計画三次案

165-4 2019 年度 計測技術委員会 活動状況

165-5-1 計測研究会 11 月 (佐賀) プログラム

165-5-2 計測 知覚情報合同研究会 12 月 (長岡) プログラム

165-5-3 光応用・視覚 計測合同研究会 (富山) プログラム

165-5-4 電気学会研究会企画連絡シート

165-6 令和 2 年度 A 部門大会企画セッション募集

165-7 優秀論文発表賞 A 賞受賞者, 基礎・材料・共通部門表彰受賞者

165-8 電気学会 基礎・材料・共通部門活動資金 報告書

165-9 特集号論文募集

165-10 学会カレンダー

計測技術委員会委員名簿

議 事

1. 議事録の確認

議事録記載の資料番号を訂正した。

11 月の計測研究会 (佐賀) で行われた海洋温度差発電に関する特別講演の内容について報告され, 次年度の見学会候補とした。

2. 研究調査運営委員会

大谷委員長より以下の報告があった。

- ・ 調査専門委員会解散時に単行本を出版する際の申請フォーマットが変更となった。
- ・ 投稿された論文について, 大量破壊兵器等の開発等の懸念が払拭されない外国所在団体の情報を提供する経済産業省発出「外国ユーザーリスト」記載の所属からの投稿ではないことを査読時に確認せよと依頼。
- ・ 全国大会の特別講演者について中川聡子氏, 宮野谷義傑氏, 寿楽浩太氏, 中国電機工

程学会学長クラスの4名であると報告された。

- ・ 令和2年度学術表彰の推薦が開始。論文賞，進歩賞が対象。
- ・ 基礎材料フォーラムなど種々フォーラムが開催されており，稼いだ利益の取り扱いについて今後議論する。
- ・ A部門に技術委員会をクロスオーバーした分野を作れないかとの提案があった（誘電絶縁と計測を組み合わせる等）。
- ・ 国際会議 ICEE が高松で8月に実施される（IEEJ, HKIE, IEEK が運営）。
- ・ 研究調査運営委員会を立ち上げる際に半数以上を電気学会員で構成し，2期目開始時には75%以上で構成することが要求される。
- ・ 令和2年4月から研究会資料の電子化が開始。領収書も電子化される。オンライン上で購入しクレジット決済となる。

3. 2020年度計測技術委員会活動計画三次案

作本幹事より資料165-2に基づき説明があった。

- ・ 研究会11月（佐賀）で海洋温度差発電の見学会を行う場合，移動に時間がかかるため，1日目の午前からIEEE学生研究発表会，2日目の午前から計測研究会開始とし，2日目午後に見学を実施する案で検討することとなった。

4. 2020年度計測研究会実施計画三次案

作本幹事より資料165-3に基づき説明があった。

- ・ 研究会2月（地方）でPEMとの連載とし2日間の開催および，意見交換会を実施することとなった。
- ・ 研究会12月（地方）担当委員に仲嶋副委員長を追加，プログラム，予稿編纂を今池幹事が担当。
- ・ 11月（佐賀）での特別講演を行う時間はないため，12月と2月に特別講演を実施する。12月は水野委員（電通大），2月は水野委員（NICT）に講演者選定を依頼。

5. 2019年度計測技術委員会活動状況

作本幹事より資料165-4に基づき説明があった。

- ・ SICE センシングフォーラムの審査員を広く募集することとなった（昨年度：大谷委員長，今池幹事，河村委員，佐山委員）。審査のみの場合参加費は無料。

6. 計測研究会発表募集案内について

資料165-5-1, 2, 3, 4に基づき説明があった。

- ・ 11月（佐賀），12月（長岡）の開催状況が報告された。
- ・ 2月（富山）について一般講演7件と特別講演1件，意見交換会が開催されることが報告された。
- ・ 3月（東京）について4件の応募があると報告された。締め切りを2月7日まで延長した。

7. A部門大会企画セッション

資料165-6に基づき大谷委員長より説明があった。

- ・ 計測技術委員会としては企画しない。

- ・ 企画申請時に発表予定者の記載が必要。鉄道における計測ができないか松村委員が検討することとなった。

8. 優秀論文発表賞

白井幹事補佐より資料 165-7 に基づき説明があった。

- ・ メール審議での結果 A 賞：小池真利子氏，部門表彰：飯塚亮太，河村颯大氏に決定した。
- ・ 表彰者数は 35 歳以下の発表者割合から各技術委員会に割り振られている。

9. 電気学会基礎・材料・共通部門活動資金申請書

大谷委員長より資料 165-8 に基づき説明があった。佐賀大学での特別講演の内容について成果が報告された。

10. イノベーションを創出する最新の計測技術 2021

大谷委員長より資料 165-9 に基づき説明があった。2021 年 9 月号掲載。英語タイトルから for を削除した。

11. 学会カレンダー国際会議開催予定

大谷委員長より資料 165-10 に基づき説明があった。OFS2021 (Yokohama) 古川委員が運営に関係，IMS2020 (Los Angeles) 河村委員，CPEM (Denver) 山田委員，ISAP (OSAKA) 河村委員，APMC2020 (Hong Kong) 河村委員・大谷委員長からそれぞれ推薦された。

12. その他

福本委員の後任を探すこととなった。

次回予定 日 時 令和 2 年 5 月 8 日 (金) 場 所 未定

IM-09 議事録

資 料

IEEE 主催 2019 年度学生研究発表会採点表

議 事

1. 2019 年度学生研究発表会表彰者について
 - ・ Student Award 受賞者は安田太空氏（有明高専）、大木保典氏（有明高専）の 2 名となった。
2. 役員改選について
 - ・ 長岡技大にて総会を開催したことが報告された。チャプターリベート（2.6 万円）は申請不備のため 2019 年度は無し。
 - ・ JC の事業支援費（特別講演等）には余裕があるため申請すれば通る可能性が高い。